

自 2019年4月1日  
至 2020年3月31日

## 第 2 期 事 業 報 告

特定非営利活動法人あのね  
代表理事 中澤 昭広

## 2019（平成 31）年度 事業報告について

### 1. 事業実施期間

2019（平成 31）年 4 月 1 日～2020（令和 2）年 3 月 31 日

### 2. 事業の成果

2019 年 4 月 1 日、障害福祉サービス事業所「あさひいきいき就労支援センター」（就労移行支援・就労継続支援 B 型の多機能型 20 名定員）を開所し、利用を希望される方の様々なニーズに応えるべく日中活動を行ってきました。学卒新規の方で必ず就職を実現したいと希望される方、就職していたが期間満了で退職された後に再就職を目指される方、失った数年分の記憶と日常を少しずつ取り戻されている方、孤独や将来不安を抱えながらこれから先の糸口を求めに来られる方、社交不安を抱えて在宅生活を余儀なくされている方等、十人十色のニーズがあります。支援者側の力不足を感じながらも、表情やさりげない独り言、声のトーン等、細かな情報をアンテナ高くして感じ取ることを大切に、本人に寄り添い、相談しながら活動をすすめてきました。個別の面談や休憩時のちょっとしたタイミングを見つけて話し込み、スタッフ間で情報の共有を行い、必要に応じて保健福祉センター、医療機関、相談支援センター、家族等との連携の中で支援しました。

活動の内容は製菓製パン、簡単な組立や袋詰めの軽作業、自社店舗や催事等での販売、パソコン講習等です。販売先では旭屋市、区民祭り、城北公園フェア等、地域で開催されるイベントに積極的に参加し、売り上げと利用者に分配する工賃増を図るとともに、事業所の宣伝活動も行ってきました。宮城県南三陸との連携の中で、水ダコを仕入れて「福興たこめし」と銘打って販売を続けています。人とのつながりで出来た商品を大切にしています。また毎日の作業の中では役割分担があり、仕事を通じて認め、認められる関係が生まれています。苦手な仕事については、自助具を作ったり構造化したりする中で、積極的に仕事の幅を広げてきました。繰り返し行われるこのような取り組みが、少なからず生活リズムの安定や前向きに取り組もうとする元気につながっています。

就労移行支援事業を柱に、ハローワークとの連携や企業開拓、外食産業の厨房や病院での清掃実習等、就職に向けた支援を実践しました。鉄道模型が大好きな青年が電車内の部品を組み立てたりする仕事で就職を果たしたのが印象的でした。関係法人から引継ぎ依頼を受けた 10 名の就職者の定着支援もすすめています。健康面や人間関係、労働条件の変更、離職と再就職等、会社担当者や生活の場の担当者、家族等との連絡・調整しながら課題解決に向けた支援を実施しました。また、特別支援学校卒業予定者等の就労継続支援 B 型利用に係る就労アセスメントの依頼があり、当事業所内での実習と評価に取り組みました。

年度末から年度初めにかけて、新型コロナウイルス感染防止が大きな課題になり、施設内

の消毒清掃や入室時の手洗い・消毒、作業室の風通し等の取り組みを始めました。事業所のサービス提供時間を短縮営業（11時～15時）に変えたり、公共交通機関を利用されている利用者については車による送迎に切り替えたりしました。自宅に仕事を届ける「在宅利用」も取り入れました。利用の自粛を指示する通達が流れてきた頃にアンケート調査を行ったところ、7割の利用者が「通常通り事業所に通いたい」と回答しました。日々の日中活動の充実が生活全体のリズム作りにつながっているとの意見が寄せられています。少しでも感染リスクを減らせるよう取り組んできた結果、幸いにも感染第一波の期間を乗り越えることが出来ました。

当法人ではいわゆる引きこもりの成年への支援も掲げています。今期では学卒後一度はアルバイトの経験をしたものの、その後在宅生活で引きこもっている成年と家族からの相談があり、短時間アルバイトとして採用しました。コミュニケーションが難しい部分がありますが、1日も休まずに勤務しています。また、学齢期から在宅生活を送っている児童宅に仕事を届けながら少しずつコミュニケーションを図る取り組みも進めました。この分野ではアウトリーチできるマンパワーが欠かせません。活用できる制度や民間助成等を検討しながら体制整備を急ぐ必要を感じました。

この1年間、約7カ月にわたり、週に2～3回のペースで、3名のボランティアさんが活動に参加しました。それぞれお勤めの会社の休職期間や休日を利用して、事業所店舗のポップ作りや部屋の清掃、おやつ作りや利用者の話相手として、時には施設外のレクリエーションに同行して頂く等、いろいろな場面で活躍頂きました。利用者・職員・ボランティアそれぞれに、日常にない感覚や動きや発見がありました。

### 3. 事業の実施状況について

特定非営利活動法に係る事業

(事業名) 障害福祉サービス就労移行支援・就労継続支援B型事業の実施

(内容) 仕事の提供を通じた日中活動の提供や就職支援

(事業の実施場所) 大阪市旭区高殿6-5-17永田ビル

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 大阪市内の利用希望者

(収益) 29,037,669円(訓練等給付費・寄付金・雑収等)

(費用) 33,839,972円(給料・消耗品・家賃等)

特定非営利活動法に係る下記事業については今期実施なし

\* 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定・一般相談支援事業・児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

\* 障害者福祉・地域福祉等に関する学習会の開催や地域交流事業(であい・経験事業)

\* 社会参加のない状態が続く児童や成年へアウトリーチと居場所作り事業

#### 4. 社員総会の開催状況

##### 第2期定時社員総会

(日時) 2019年6月22日(土曜日) 18時40～20時0分

(場所) あのね2階作業場

(社員総数) 13名

(出席者数) 12名

(内容)

##### 1号議案 2018年度事業報告について

事業所開設のための賃貸物件の契約、施設設備、設備整備に係る工事、各種申請、借入金等について、質疑の後可決承認

##### 2号議案 2018年度決算案について

施設・設備整備費、借入金等含む2018年度決算について、質疑の後可決承認

##### 3号議案 監事監査報告及び監事退任と選任について

監事監査報告及び監事の退任を了承。また後任の監事を選任。

##### 第2期臨時社員総会

(日時) 2020年3月14日(土曜日) 14時00分～15時00分

(場所) あのね事務所

(社員総数) 12名

(出席者数) 10名

##### 1号議案 2019年度事業報告について

障害福祉サービス事業所(就労移行支援・就労継続支援B型の多機能型)開設から1月期までの活動報告について、質疑の後了承。

##### 2号議案 2019年度収支見通しについて

事業所開設から1月期までの収支について、質疑の後了承。

##### 3号議案 2020年度事業計画案について

2020年度事業計画案について、質疑の後一部修正の上、可決承認

##### 4号議案 2020年度予算案について

2020年度予算案について、質疑の後可決承認

#### 5. 理事会の開催状況

##### 第2期第1回理事会

(日時) 2019年6月22日(土曜日) 18時00～18時30分

(場所) あのね2階作業場

(理事総数) 5名

(出席者数) 5名

(監事予定者) 1名

(内容)

1号議案 2018年度事業報告について

事業所開設のための賃貸物件の契約、施設設備、設備整備に係る工事、各種申請、借入金等について、質疑の後可決承認

2号議案 2018年度決算案について

施設・設備整備費、借入金等含む2018年度決算について、質疑の後可決承認

3号議案 監事監査報告について

監事監査報告を了承

第2期第2回理事会

(日時) 2020年3月14日(土曜日) 13時30分～14時00分

(場所) あのね事務所

(理事総数) 5名

(出席者数) 5名

(監事) 1名

1号議案 2019年度事業報告について

障害福祉サービス事業所(就労移行支援・就労継続支援B型の多機能型)開設から1月期までの活動報告について、質疑の後了承。

2号議案 2019年度収支見通しについて

事業所開設から1月期までの収支について、質疑の後了承。

3号議案 2020年度事業計画案について

2020年度事業計画案について、。質疑の後可決承認

4号議案 2020年度予算案について

2020年度予算案について、質疑の後可決承認

以上